

こんにちは

日本共産党  
県議会活動報告  
週刊ニュース

2016年4月24日 NO. 883



きらとみひこ

吉良富彦です

事務所

吉良富彦事務所 855-9439 愛宕商店街  
議会控室 823-9524 県議会内

# ビキニ被災 国家賠償請求へ

## 5月9日高知地裁提訴 原告団20人超す動き

●62年前のビキニ水爆実験で被災した船員の被害回復に必要な資料を隠

していた政府の責任を追求しようとの「太平洋核被災救済センター」の呼びかけに対して、労災申請では救済されない被災船員・遺族の皆さんが国家賠償請求原告団を結成して提訴しようという動きが急速に広がっています。

●公文書を開示してから3年が時効とされており、外務省は今年の11月が時効、厚労省は来年10月が時効となる可能性があり、提訴が急がれています。被災船員の皆さんは、5月9日に提訴に踏み来ろうと準備を進めています。高知でのこれらの動きを受け、他県でも急ぎ準備が進め

られています。

●原告団結成準備会は、裁判の趣旨を「政府がアメリカとの間で、被災者の被害回復を求める権利を放棄し、被害回復に必要な資料を隠し、被災者救済を放置してきた国の責任をあきらか

にする。①. ビキニ被災者救済のため、損害賠償を請求する。そして、労災認定申請を円滑に進めること。②. ビキニ被災を教訓として、未来に継承し、福島原発被災に生かしていく。③. アメリカや核保有国の核実験の国際的責任を解明、追及する」としています。

**被ばく船員の歯 提供を**  
研究者ら 県歯科医師会に要請  
2016.4.7 高知

【室戸】1950年代を中心に米国が全平洋で行った核実験について、漁船員の被ばく実態調査をめぐり、研究グループが6日、高知市で県歯科医師会や室戸市の船員組合を訪ね、元船員の歯の収集と協力をお願いした。グループは2年前にも同会を通じて歯科医師約40人に協力を呼びかけたが、歯が集まらなかった。このため、あらためて協力を求めることにした。

星正治・広島大学名誉教授と豊田新・岡山理科大学教授らが来高し、太平洋核被災支援センターの山下正壽事務局長（宿毛市）も付添った。

星教授らによると、歯の表面のエナメル質には放射線による傷が残っているため、自然環境や治療による影響を差し引けば、実験で受けたとみられる線量を推定できるという。これまでに県内の元乗組員の男性の歯から約39本の線量が確認されているという。

訪問を受けた室戸遠洋漁船船員組合の山本成男組合長は調査への協力を約束。ただ、古い名簿が残っていないが、乗組員の記憶が曖昧だったという。星名誉教授は「治療などで抜歯する際に提供していただければ」と呼びかけている。問い合わせは豊田教授（086・2566・9608）へ。（馬場 隼）



たにしました。必勝の思いを新募金！ た二千円を超す次々と寄せられ原発止める等々、僅かやけど、ひと事ではない、ひと事ではない、比例予定候補と16日午前中の2時間、街宣で街へ。



●九州地震の救済募金を みかじり亮子参院 人が女の子に付けた名前です。4月10日迄の町紙の博物館で開催された「旅する蝶ーアサギマダラの不思議」展でロマンに触れてきました。



●海を渡る蝶 和歌山から高知の香北町で休憩し香港まで2430kmを82日間で渡っていく蝶がいます。その名はシートタ（別名アサギマダラ）です。宮崎駿監督が映画「天空の城ラピュタ」の主

●これら政府が調査し保管していた情報が、早いうちに公開されていたなら、医学的にも必要な処置ができたことは言うまでもありませんし、経済的な保障もされてきていたと考えられます。センターでは室戸や土佐清水、高知市でも検証会を5月7・8日と行い、9日に高知地裁に提訴するとしています。